



[平成22年度設置]

計画の区分：研究科の課程の変更（博士課程（後期3年の課程）の設置）

注1

宮城大学大学院看護学研究科看護学専攻（博士後期課程）

注2

## 【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書

公立大学法人宮城大学  
平成22年5月1日現在

### 作成担当者

担当部局（課）名 事務部学務課

職名・氏名 カチヨウホ サ ササキヨウジ  
課長補佐 佐々木浩司

電話番号 022-377-8212

（夜間） 022-377-8212

F A X 022-377-8282

e-mail kyoumu1@myu.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は認可時の基本計画書の「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

認可時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には認可時の旧名称を記載いただき、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部

(□□学部)

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

・学部の設置の場合：「〇〇大学 〇〇学部」

・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 〇〇学部 〇〇学科」

・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 〇〇学科」

・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」

・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 〇〇学部 〇〇学科（通信教育課程）」

「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。

「意見伺い」の場合は、表題を修正してください。

# 目 次

1	調査対象大学等の概要等	1 ページ
2	授業科目の概要	4 ページ
3	施設・設備の整備状況, 経費	6 ページ
4	既設大学等の状況	7 ページ
5	教員組織の状況	8 ページ
6	留意事項に対する履行状況等	11 ページ
7	その他全般的事項	12 ページ

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

公立大学法人宮城大学

## (2) 大学名

宮城大学大学院

## (3) 大学の位置

〒981-3298

宮城県黒川郡大和町学苑1番地1

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	届出時	変更状況	備考
理事長	(マワタリ ショウケン) 馬渡 尚憲 (平成21年4月)		
学長	(マワタリ ショウケン) 馬渡 尚憲 (平成15年4月)		
研究科長	(タケダ ジュンコ) 武田 淳子 (平成20年4月)		
学科長等			

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。

(例) 平成19年度に報告済の内容 → (19)

平成22年度に報告する内容 → (22)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて見え消し修正するとともに、上記と同様に「備考」に変更理由等を記入してください。  
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

(5) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。  
 ・ 様式は, 平成20年度開設の博士後期課程の場合(平成22年度までの3年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) -① 調査対象研究科等の名称, 定員

調査対象研究科等の名称(学位)	設置時の計画			備考
	修業年限	入学定員	収容定員	
看護学研究科看護学専攻 (博士後期課程)  博士(看護学)	年 3	人 3	人 9	【基礎となる学部】 看護学部看護学科

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。  
 ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。

(5) -② 調査対象研究科等の入学者の状況

区分	報告年度 平成22年度	平成23年度	平成24年度	平均入学定員 超過率	備考
A 入学定員	( ー ) 3	( )	( )	1.33	※社会人に係る入学定員、選抜試験はないため、志願者数から入学者数までの欄は社会人の状況を記載した。
志願者数	( 5 ) 5	( )	( )		
受験者数	( 5 ) 5	( )	( )		
合格者数	( 4 ) 4	( )	( )		
B 入学者数	( 4 ) 4	( )	( )		
入学定員超過率 B/A	( ー ) 1.33	( )	( )		

- (注) ・ ( )内には, 社会人の状況について内数で記入してください。該当がない年には「ー」を記入してください。  
 ・ 「社会人」については, 認可申請書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。  
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。入学定員超過率については, 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入し, 平均入学定員超過率も同様の方法としてください。  
 ・ 「平成22年度」には, 平成22年5月1日現在の状況を記入してください。  
 ・ 「平成20~21年度」には, 確定した数値を記入してください。

(5) -③ 調査対象研究科等の在学者の状況

学年	報告年度 平成22年度	平成23年度	平成24年度	備考
1年次	[ ー ] 4	[ ]	[ ]	
2年次	/	[ ]	[ ]	
3年次	/	/	[ ]	
計	[ ー ] 4	[ ]	[ ]	

- (注) ・ [ ]内には, 留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「ー」を記入してください。  
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。  
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。  
 ・ 各年度の5月1日現在の状況を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	退学者数 (a)	入学者数 (b)	入学者に対する 退学者数の割合 (a/b)
平成22年度	計 [ — ]	(累積)計 [ — ]	[ — %]
	うち平成22年度入学者 0人	うち平成22年度 4人	— %
	(主な退学理由)		
平成23年度	計 [ ]	(累積)計 [ ]	[ %]
	うち平成22年度入学者 人	うち平成22年度 人	%
	うち平成23年度入学者 人	うち平成23年度 人	
	(主な退学理由)		
平成24年度	計 [ ]	(累積)計 [ ]	[ %]
	うち平成22年度入学者 人	うち平成22年度 人	%
	うち平成23年度入学者 人	うち平成23年度 人	
	うち平成24年度入学者 人	うち平成24年度 人	
	(主な退学理由)		

(注)・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。

- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、各対象年度における退学者数を開設年度から当該年度までの入学者(累積)で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に、その人数も含めて記入してください。
  - ・就学意欲の低下
  - ・学力不足
  - ・他の教育機関への入学・転学
  - ・海外留学
  - ・就職
  - ・学生個人の心身に関する事情
  - ・家庭の事情
  - ・除籍
  - ・その他
- ・「平成22年度」については5月1日現在の状況を記入してください。
- ・「平成19～21年度」には、確定した数値を記入してください。

## 2 授業科目の概要

<看護学研究科看護学専攻（博士課程（後期3年の課程））>

### (1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基本科目	生涯健康支援看護学研究方法特論	1前	2			5						
	生涯健康支援評価特論	1・2前		2		2						
	生涯健康支援看護管理特論	1・2前		2		1	1					
	生涯健康支援看護教育特論	1・2後		2		2						
専門科目	生涯健康支援看護学特論	1前	2			6						
	次世代育成健康支援看護学演習	1後		1		4						
	成熟期健康支援看護学演習	1後		1		5						
	在宅・地域健康支援看護学演習	1後		1		3	1					
特別研究	生涯健康支援看護学特別研究	1～3	6			16	2					

- (注) ・認可申請書の様式第2号（その2の1）に準じて作成してください。  
 ・設置認可時の授業科目全て（兼任、兼担教員が担当する科目を含む。）を黒字で記載いただき、設置認可時より変更されているものは赤字で見え消し修正いただき、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。  
 ・授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。（今後、審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。）  
 ・「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記載する必要がなかった学部等（平成19年度認可以前）についても、設置認可時の状況を黒字で記載いただき、平成22年5月1日現在の状況を赤字で見え消し修正してください。

### (2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 3	科目 6	科目	科目 9	科目 [ ]	科目 [ ]	科目 [ ]	科目 [ ]	

- (注) ・未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する（資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。）とともに、[ ]内に、設置認可時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2	※該当なし					
3						

(注) ・ 設置認可時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず, 何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。  
・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については, 記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2	※該当なし					
3						

(注) ・ 設置認可時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

※ 該当なし

(注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{認可時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0\%}$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位までを記入してください。

### 3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大学全体			
	校舎敷地	234,352㎡	— ㎡	— ㎡	234,352㎡				
	運動場用地	18,052㎡	— ㎡	— ㎡	18,052㎡				
	小 計	252,404㎡	— ㎡	— ㎡	252,404㎡				
	そ の 他	113,070㎡	— ㎡	— ㎡	113,070㎡				
	合 計	365,474㎡	— ㎡	— ㎡	365,474㎡				
(2) 校 舎		専 用 ( 58,272 ㎡ )	共 用 ( — ㎡ )	共用する他の 学校等の専用 ( — ㎡ )	計 ( 58,272 ㎡ )	大学全体			
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体			
	27室	33室	22室	6室 (補助職員 人)	6室 (補助職員 1人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数		新設研究科			
	看護学研究科看護学専攻博士後期課程			18 室					
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機 械 ・ 器 具 点	標 本 点	大和キャンパス全体	
		看護学研究科看護学専攻博士後期課程	99,779 [14,500] (81,317 [13,691])	5,200 [3,700] (5,107 [3,617])	4,100 [3,300] (4,035 [3,237])	4,050 (3,990)	— ( — )		— ( — )
	計	99,779 [14,500] (81,317 [13,691])	5,200 [3,700] (5,107 [3,617])	4,100 [3,300] (4,035 [3,237])	4,050 (3,990)	— ( — )	— ( — )		
(6) 図 書 館	面 積		閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体		
	3,118.00㎡		366		321,000				
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要					大学全体	
	5,398.00㎡		テ ニ ス コ ー ト 4 メ モ リ ア ル ホ ー ル 1						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	大学全体
		教員1人当り研究費等	590千円	590千円	図書購入費	45,800千円	45,800千円	45,800千円	
	共同研究費等	12,373千円	12,373千円	設備購入費	28,812千円	28,812千円	28,812千円		
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		県内818千円 県外1,100千円	536千円	536千円	— 千円	— 千円	— 千円		
学生納付金以外の維持方法の概要		大学院の維持運営に当たって、学生納付金で不足する部分については、宮城県からの運営交付金を充当する。							

- (注) ・ 設置認可時の計画を認可申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。
- ・ 複数のキャンパスに分かれている場合は、キャンパス毎に作成してください。
  - ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(22)」を「備考」に赤字で記入してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。
  - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、《別紙様式2》により、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

#### 4 既設大学等の状況

大学の名称	宮城大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍			
看護学部			3年次					宮城県黒川郡	
看護学科	4	90	10	380	学士（看護学）	1.02	平成9年度	大和町学苑1番地1	
事業構想学部								宮城県黒川郡	
事業計画学科	4	100	-	400	学士（事業計画学）	1.04	平成9年度	大和町学苑1番地1	
デザイン情報学科	4	100	-	400	学士（デザイン情報学）	1.06	平成9年度	番地1	
食産業学部			3年次					宮城県仙台市	
ファームビジネス学科	4	40	3	166	学士（食産業学）	1.1	平成17年度	太白区旗立2丁目2番1号	
フードビジネス学科	4	50	5	210	学士（食産業学）	1.1	平成17年度		
環境システム学科	4	30	2	124	学士（食産業学）	1.13	平成17年度		

（注）・本調査の対象となっている大学等の設置者（学校法人等）が、既に設置している全ての大学の学部、学部の学科、短期大学の学科及び高等専門学校等の学科について、大学、短期大学又は高等専門学校ごとに、平成22年5月1日現在の状況を記入してください。

（専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。）

- ・認可申請書の様式第2号（その1の1）に準じて作成してください。
- ・「定員超過率」には、過去標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第2位まで（小数点第3位を切り捨て）を、学科（短期大学において専攻課程を設置している場合には、専攻課程）単位で記入してください。なお、学生募集停止を行った学科（短期大学において専攻課程を設置している場合には、専攻課程）の記載は不要です。
- ・学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員と収容定員は「-」とし、「備考」に「平成〇より学生募集停止」と記入してください。

## 5 教員組織の状況

<看護学研究科看護学専攻（博士後期課程）>

(1) 担当教員表

省略

(2) 専任教員数

認可時の計画				変更状況				備考
研究指導教員	研究指導補助教員	計	助手	研究指導教員	研究指導補助教員	計	助手	
18		18						
( 17 )	( )	( 17 )	( )	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	

(注) ・「認可時の計画」には、設置認可時に予定されていた完成時の人数を記入するとともに、( )内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成22年5月1日現在（就任予定の者を含む）の状況を記入するとともに、[ ]内に設置認可時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(3) 専任教員辞任等の理由

番号	職位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1	※該当なし		
2			
3			

(注) ・設置認可時の計画からの専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

※該当なし
-------

(注) ・上記(3)の教員の辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

## 6 留意事項に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
認 可 時  (21年10月)	※該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時			
設置計画履行状況 調 査 時			

- (注) ・ 「認可時」には、当該大学等の設置認可時に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、毎年度、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された留意事項に対する履行状況等について、毎年度、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料を添付してください。
  - ・ 入学定員超過に係る留意事項への履行状況については、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
  - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。

## 7 その他全般的事項

<看護学研究科看護学専攻（博士後期課程）>

### (1) 設置計画変更事項等

認可時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
	※ 該当なし

- (注) ・ 1～6の項目により記入した事項以外で、設置認可時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 認可申請書の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

### (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p>FDの企画実施及び改善策の策定、授業評価及び授業改善等を所掌する全学的組織として、学務入試委員会を設置している。</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <p>平成21年度は、9回委員会が開催され、看護学研究科からは、委員長を含め5名の教員が参加している。</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <p>FDの企画実施、授業評価の実施、及び教務、入試に係る全学的な事項</p> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・FDの実施、ならびにテーマ設定の趣旨や実施状況及び成果・課題・改善に向けての提案を記載した報告書の作成</li> <li>・授業評価項目の全学統一化と実施、ならびに授業評価結果と担当教員によるコメントを掲載した報告書の作成</li> </ul> <p>b 実施方法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・FDについては、全教員を対象とした全体会、共通教育部会と各学部・研究科毎の各学部部会、各研究科部会を実施し、1冊の報告書としてまとめている。</li> <li>・授業評価については、共通教育、各学部・研究科に分けて報告書を作成している。</li> </ul> <p>c 開催状況（教員の参加状況含む）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・FDについては、8月上旬に4日間にわたり開催され、全体会、共通教育部会及び看護学部部会、看護学研究科部会に看護学研究科のほぼ全ての教員が参加している。</li> </ul> <p>d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・FDについては、実施結果を受けての全学的取り組みに加え、共通教育部会や各学部・研究科としての課題や改善に向けた提案を取りまとめた報告書を作成し、改善策の実施に向けて組織的に取り組んでいる。</li> <li>・今年度より、全学的な体制の元で優れた授業を実施している教員を選定し、FD全体会でその取り組み等を紹介すること等を通して教育力の向上を図る機会とする予定である。</li> <li>・授業評価については、各担当教員が授業改善に向けた対策等を報告書に記載して個別に取り組んでいる。</li> <li>・授業評価を組織的に授業改善に結びつける方法について検討中である。</li> </ul>
--

- (注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
- 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

### (3) 自己点検・評価等に関する事項

#### ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

博士後期課程の入学者は、定員3名に対して4名であり、いずれも社会人学生であった。また内訳は、総合病院の看護管理者（師長）2名と看護系大学の助教2名となったことから、地域社会や看護教育におけるニーズに対応すべく養成する人材像として「高度看護実践指導者」及び「看護教育研究者」を掲げ、教育研究体制を整備したことに対して一定の評価が得られた結果と考える。また社会人学生の職務状況に合わせて夜間開講を実施するとともに、学生からの申請に応じて2名の学生に長期履修制度を適用する等、学生が無理なく計画的に履修できるよう配慮している。

研究指導についても、主研究指導教員と副研究指導教員による個別研究指導と並行して、D〇合教員6名（もう1名のD〇合教員は、予定通り23年度に着任）と学生4名全員参加による研究指導を行っており、7月の研究計画発表会（集団的研究指導）に向けて、計画どおりに進行中である。今後も、学年進行に合わせて教育課程の運営を着実に実施するとともに、8月に開催するFDの機会等を通して教育方法の改善・向上に努めていきたい。

#### ② 自己点検・評価報告書

##### a 公表（予定）時期

- ・平成26年4月 公表

##### b 公表方法

- ・大学ホームページ上に公開予定

#### ③ 認証評価を受ける計画

- ・平成25年度に認証評価を受ける予定

(注) ・ 設置認可時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報提供に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

- a ホームページに公表の有無 ( 有 ・  無 )
- b 公表時期 (未公表の場合は予定時期) (平成22年 7月 1日 )
- c 文部科学省ホームページから、貴学ホームページの「設置計画履行状況報告書」掲載ページへのリンク (  承諾する ・ 承諾しない )
- d 上記で「承諾する」を選んだ場合、そのリンク先のアドレス  
(<http://www.myu.ac.jp> )

(注) ・ 「c」において「承諾する」場合、文部科学省のホームページにてリンク先を掲載しますので、大学等のトップページではなく直接リンクする先を「d」に記入してください。

なお、「d」のリンク先のアドレスが未定の場合は、決まり次第、文部科学省高等教育局大学設置室あてに、メールにてご報告ください。

※大学設置室メールアドレス : [d-secchi@mext.go.jp](mailto:d-secchi@mext.go.jp)

件名は「【調査係あて】AC報告書等HPリンク先(〇〇大学)」としてください。